

オレノ2000GR

取扱説明書

この度は、進勇商事(株)オリジナルスプレーガンをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

はじめに

- この取扱説明書はスプレーガンの使用方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず取扱説明書を十分お読みの上、正しく御使用下さい。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存して下さい。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社、または特約店に御依頼下さい。
- 尚、品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行う事が有ります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので予め御了承下さい。
- ご不明な事や御気付きの事がございましたら、お買い上げの特約店、販売店に御相談下さい。
- △印付の下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ず御守り下さい。

⚠注意

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に障害または製品の重大な損傷に至る可能性があることをしめします。

- (1)スプレー作業は、必ずブース設備及び換気が十分に整った場所で行って下さい。密閉された部屋もしくは換気が不十分な場所で作業されますと作業者が使用塗料により有機溶剤中毒を引き起こす危険性があります。
- (2)密室で有機溶剤分が充満しますと火災、爆発の危険がありますので決して、火気のそばもしくは引火の恐れのある場所では使用しないで下さい。また、静電気が発生しない様に十分注意して下さい。
- (3)スプレーガンに塗料カップ及び塗料ホース、空気ホースを接続する時は、スパナ等を使いしっかりと締めつけて下さい。取付けが緩いと使用時に加圧エア及び塗料または各種液体が人体、塗装物、その他周辺機器に散り、被害をおよぼすことが有りますのでご注意下さい。
- (4)空気ホース及び塗料ホースの接続は、それぞれの流体に合った材質を使用して下りますので、決してその用途以外での使用は避けて下さい。また、耐圧規格以上の使用及び古くキズ等で痛んだホースはご使用にならないで下さい。
- (5)スプレーガンの溶剤は、きれいな溶剤をご使用下さい。塗料回路に塗料カス、ゴミ等が入りトラブルの原因になりますし、ガン及びカップ内に洗浄シンナーが残った状態でそのまま塗装に使用しますと塗装不良の原因となります。
- (6)決して、人体に向かってスプレーしないで下さい。

1. ご使用方法

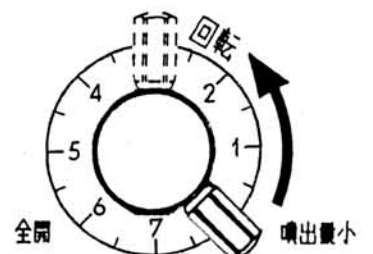
吹き付け塗装面の良否はスプレーガンの取扱いに左右されます。性能を十分に発揮させる為には正しくご使用下さい。

- ①塗料カップ及びエアホースは、スプレーガンにしっかり取り付けて下さい。
- ②使用空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、大体1～3 kgf/cm²の範囲に設定して下さい。

ご注意・・・ご使用前は必ず空気量調節器セット(16)を一杯に締めてからエアホースを接続して下さい。
最大値4 kgf/cm²の微圧圧力計を使用しておりますので、故障の原因となります。



- ③塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カップ8～13 sec程度が適当です。
- ④吹付距離は、10～20cmが適当です。吹付距離を近づけ過ぎたり、遠過ぎたり、円弧移動などをして塗装しますと塗装面にタレ、ムラ、スケ等が生ずる原因となります。
- ⑤塗料噴出量の調整は塗料調節器セット(25)で行います。
塗料調節器セット(25)の塗料調節レバーを後方にある目盛板(22)の数字に合わせ、右一杯(目盛0)に回しますと塗料の噴出量は無くなり、逆に左へ回しますと、徐々に噴出量が増加し、塗料調節レバー(目盛6)で、ほぼ全開状態となります。
- ⑥パターンの調整はパターン調節器セット(15)で行います。右一杯に回しますと丸吹きパターンとなります。逆に左に回しますと、徐々に平吹きパターンとなります。



2. 保守・点検

スプレーガンの性能を長く維持するため、また次の使用に備えるためには、使用後のお手入れが是非とも必要です。

- ①カップに残っている塗料は別の容器に移し、カップに少量の溶剤を入れてブラシで内面を洗った後、吹付けの要領で溶剤を噴出させる。この作業を2～3回繰り返しますとスプレーガンとカップの塗料回路がきれいに洗浄できます。注・硬化時間の早い塗料が増えています、吹付け後直ちに洗浄下さい。
- ②空気キャップ(3) 塗料ノズル(4) 及び塗料ニップルに付着している塗料は溶剤に浸し、ブラシなどで洗い落として下さい。この時、空気キャップ、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁(10)は絶対に傷を付けないで下さい。

ご注意・・・ガンウォッシャー（自動洗浄機）等でガン全体のお手入れをする時は必ず圧力計(27)を外してから行って下さい、圧力計の故障の原因となります。またガンウォッシャーを使用される場合は、洗浄ノズルをエア回路につながらないで下さい。エア回路に塗料カス等が入ると、正常な使用が出来なくなります。

- ③圧力計()は、絶対に塗料・シンナー等に浸漬しないで下さい。
- ④空気キャップ(3) をセットする時は、塗料ノズル(4) 先端を空気キャップ中心穴に沿うようにして締付けて下さい。
- ⑤ニードル弁セット(10)、塗料調節器セット(25)の部品交換もしくは分解組立、再調整する場合は、塗料調節ネジを全閉してから右図の様に塗料調節レバーを目盛板の0の位置に合わせて、六角穴付止めネジをロックします。その時塗料調節レバーは軽く締めて下さい。
- ⑥塗料ノズル(4) の脱着の際には、塗料調節器セット(25)を 1/2回転以上ゆるめた状態で行って下さい。



オレノ2000GR

部品名称

部品表

No.	名称	数
1	空気キャップナット	1
3	空気キャップ	1
4	塗料ノズル	1
5	エアープランチ	1
6	ア-プランチガasket	1
7	ガン本体	1
8	ニードルパッキング	1
9	ニードルパッキング 押さえネジ	1
10	ニードル弁セット	1
11	ニードルスプリング	1
13	空気弁本体	1
14	空気弁スプリング	1
15	パ-ン調節器セット	1
16	空気量調節器セット	1
17	空気ニップル	1
18	Eリング	1
19	引金	1
20	引金ピン	1
21	塗料ノズル 専用スパケ	1
22	目盛盤	1
23	塗料調節ガイド	1
24	塗料調節ネジ	1
25	塗料調節器セット	1
26	圧力計パッキン	1
27	圧力計	1

